

狛江市まるまる迷路

狛江シティロゲイン 2014年7月13日 東京都狛江市

新宿から小田急に乗って 20 分。住宅地の中で繰り広げられたナビゲーション。

狛江シティロゲイン
2014年7月13日 東京都狛江市



会場は狛江駅前の商業ビルのホール

日本で二番目に狭い市

「世田谷シティロゲイン」より派生した狛江シティロゲイン。東京都狛江市は東京都世田谷区の西隣にある。ここは日本で二番目に狭い市。今回のコースはこの狛江市に拘って、狛江市の範囲を一步も出ない範囲にコントロールが設定された。この範囲で3時間設定のロゲインを行おうというのだから、コントロールは50個と多めの設定である。

当然ルート取りは、ぐにやぐにやしたのものとなる。

コントロール位置は飛び地のようなところも含めてすべて狛江市であるが、コントロール間の移動は世田谷区や川崎市の範囲も通った。ちなみに日本一番狭い市は埼玉県蕨市。

狛江市の特徴

東京都狛江区ではなく狛江市。だが市外局番が全域で03である。狛江市は坂道が殆んど無い。自転車通勤・通学は非常に楽である。しかし非常に道に迷いやすいらしい。

ココさっき通ったよね

こんな狛江市内で地図を持って走っていると、同じような風景に何度か出会うことになる。「ここ通るのは3回目かな?」と思うほど似たような風景が展開することがある。効率よくコントロールを回っているはずなので、ルートがクロスすることなど無いはずなのだが。

満点狙いだぜ

地図を見たとき、私は満点狙いの作戦で回ることになった。かなりジグザグ回ることになるが、地図範囲自体が狭いので(狛江市が狭いので)何とかかなるだろうと考えた。そして実際には予定の3時間をフルに使って低い得点のコントロールも含めてすべて廻ったつもりだ。競技終了後に自己採点。あれれ・ひとつだけ行っていないコントロールがあった。しかも会場からかなり近い場所だ。多くのコントロールを次々と巡ってゆくうちに一つだけ行くのを忘れていたようだ。ああ残念。

ゆるロゲのファンが集まる

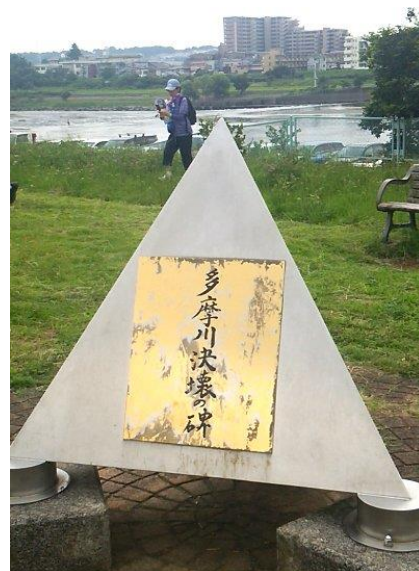
このイベントに参加した者は120名。このシリーズはゆるいロゲインとして一定のファン層を獲得している。「グルメポイント」と呼ばれるコントロールがあり、ここで地元スイーツを食べる時間は競技時間から除かれる。そのため自己計時となっている。コントロールの到着証明は写真撮影方式。スタート時刻も一斉ではなく、準備のできたものから順次スタートしてゆく。都市部で実施するには有効なスタート方法である。

この世田谷シリーズの参加者は「グルメポイント」の影響か、女性参加者が多いことも特徴だ。これはこれでナビゲーション競技の入口になっていると思う。



多摩川の中に浮かぶ「化石島」

多摩川中洲に露出している泥岩層。貝の化石が産出される。2日前に通過した台風8号の影響で、多摩川が増水し、大会直前にこの化石島は水没してしまっていたが、大会日には無事姿を見せてくれた。



多摩川決壊の碑。1974年9月、台風16号の洪水により多摩川左岸が決壊して、東京都狛江市の住宅の一部が流失するという大水害が発生した。

(木村佳司)